新年度予算から主な事業をみる

市長の施政方針に従つて、新年度の一般会計予算に見込まれている主な事業と重要施策をのぞいてみた。才出予算の主流をなすものは二つである。一つには新市建設計画事業の促進であり、他の一つは火災復興事業の完成である。財政の事情下からも、これが完全実施を図ることは容易ではないが、この二つの何れもが市の発展に不可欠であり、その促進を図ることまた急務であるので，再建計画の枠の最大限度において財源の捻出と獲得を図り、これが実現への決意を固めている。

消防装備を近代化
増強年次繰上も

長木川北部市街地及び長木釈迦内方面の消防態勢を整備強化するため、大館駅前に分遣所が設置されましたが、本年度では、これに無線機一局望楼及びサイレンを設置するほか、第五分団に配置する消防自動車を一台新規購入する。また合併地域には新市消防五ケ年計画を一年繰上げ本年度で完了するため可搬式ガソリンポンプ十四台を購入配置することになつています。

さらに消火貯水槽の建設三ケ所、これは最近各地で施工されてきたブロツク式築造法によるもので、試験的に設置し成果がよければ将来大きくとりあげようというもの。

この外、川口にホース乾燥楼を建設するなどの事業が見込まれています。

国県とタイアップ
建設事業は仕上

南北二陣で路面補修　機動配置で強力実施

三十年、三十一年と相次いだ大火のため、主力をその復興事業に注がなければならなかつた関係から道路の路面補修事業が遅れ大変迷惑をかけているので、ダンプカー一台をさらに新規購入配置し、現有の三台と合せ四台を、南部に二台、北部に二台、これに土砂利採集機を夫々一台づつ配置[illegible]路面補修を図ることになつている。

花輪線立体交叉の陸橋は県営工事で工費五千万

宗福寺線街路事業の陸橋は県との話合がつき、県営事業として工事費五千万円、二ケ年の継続事業としていよいよ本年度から着工されることになりました。本年度分は第一期工事として工費二千万、第二期工事は三千万円で三十四年度で完成するもの。この事業に対して市が負担する額は一割、本年度では二百万円となつてます。

整備される市営球場

市営球場はスタンド、外壁など未整理のままとなつているので、運動公園として、整備することになり本年度二百万円が見込まれています。

防火帯建設千六百万円
新設道路山館—曲田線ら三ケ所の施工も

防火帯建築費は二分の一が国庫負担となるものですが、当初の予定として一千六百万円が見込まれています。

新設道路では山館から中山を通つて十二所につながる米代川右岸の工事でありますが本年度は中山—曲田間の施工に着手工費二百万円で五〇%は完了できるものとみられています。

大館市の新しい道路計画の幹線は前述の山館—十二所線、二井田鎧西線、獅子ケ森—上代野線の三道路で、内二井田鎧西線は三十一年度からの継続事業として行つてきたもので、本年度、失対事業を以つて完成するほか、獅子ケ森—上代野線も工費百三十八万円を[illegible]工することになつています。

また過年度災害の土木復旧に約四百万円が見込まれています。

桂城公園の整備も

かねてからの懸案である桂城公園の整備は今年第一期として整地を行うべく五十万円が計上されていますが、これと失業対策事業を合わせて市役所一帯を含む公園施設の整備を漸次図ろうとしています

東大橋永久橋化
田代町国道の舗装

大館市は岱上から駅へ行く間に約三本の道路があるが、実際に幹線として使えるのは国道七号線一本だけで非常に混雑不便であるのでこれが架設が強く要望されていました。

現在の木橋は去る二十六年に架替えたものであるが、腐朽が甚だしく、既に重量制限の状態になつているので、二年乃至三ケ年の継続事業として単独債を起し、これを永久橋として架設すべく本年五百万円が計上されています。

構造は現在行つている二井田大橋の構造をさらに一等級程度の重量負担に耐えるものとすることが考えられている。

また十和田大館線のコンクリート舗装で沿道住民の方々と妥協がつかず現在まで放置されていた田代町地区の拡幅問題も大体話合がつき布地買収及移転保償など約二百三十万が予定されています。以前は六米の舗装をするのに約七・五米及至八米の拡幅が予定されていましたが、現在市街地の舗装は約九米となつているので拡幅は十一米にすることが必要とされています。

これによつて同地区の舗装も漸く行われることになります。

その他の土木費
二井田大橋は年度前半で開通

砂利採集事業として三百万円、橋梁の改良大披橋外二百七十万、道路改良として新沢通学道路、羽立通学道路、長面、道目木、二ツ屋、舟場、出川大披線などの改良が見込まれています。

二井田大橋橋梁復旧公共事業三百万円、単独分百十四万で、本年九月までには開通できるものとみられています。

このほか駅前火災復興に三十六万円、以上が主な土木関係事業の概要であります。

統合校舎新設
六、三制質的充実へ

学校の建設計画は強力着実に実行され、当初の六、三制計画は殆んど完成されていますが、本年度ではさらにこれを押進め六、三制計画懸案の大事業である統合校舎の新設をはじめ、老朽校舎の改築、不正常授業の解消など質的な充実を図ることになつています。

新設小学校構想　三ケ年計画で本年度千六百万円

新たな問題として取り上げられてきた新設小学校（統合学校）は目下教育委員会において鋭意検討されていますがこれが構想は、城南、桂城片山、古館、上川沿などの各小学校の学区を一部、或は全部の再編成を行つて新しい小学校を新設しようとするもので、鉄骨造り、建築坪数一千百二十坪、二十一学級を収容しようとするものです。

建設の布地としては象ケ鼻附近が予定されていますが、面積、地価などの関係では他に候補地を選定することにしています。何れにしても通学区域の距離や地勢を検討し適切な場所を選定することになつています。

工事は三ケ年計画で、本年度四百坪、建築費として一千六百万円が計上されています

老朽・不正常授業解消　増改築など五校舎

第三中学校の増築は音楽堂などで百五十七万円。

釈迦内小学校は生徒数などに対する建築基準の枠は終つていますが、新に四教室を、不正常授業解消の補助事業として二教室、単独費用で二教室事業費三百二十六万円で増築。また老朽改築事業として沼館分校の改築に二百九十七万円などが見込まれている外

桂城小学校増築は本年度を以て当初計画を完了することになり事業費三百八十一万円。

第一中学校附属建物（新小屋、便所）増築八十四万円、上川沿中学校新築費二百八十八万円は起債の獲得が困難で、布地の造成費四十万円と合せて単独費を以て賄われることになりました（施工済）

公民館建設は二館

社会教育の関係では上川沿公民館新築百三十二万円、下川沿公民館新築百二十六万円が見込まれています。

国体誘致にも乗出す

三十五、六年に予定されております国民体育大会誘致のための視察、その他の経費として、僅か二十万円ではあるが計上誘致に乗出すことになつています。

〃住宅建築〃
中層耐火で四棟

大滝に保育所新設

大滝地区の保育環境が非常に悪く、関係者からの要望もありましたが、県との折衝で大体本年度建設できる見込み建築坪数七十五坪、工費二百二十五万が計上されています。このほか既設の保育所にも若干の補助が見込まれています。

第二種中層耐火住宅四棟

昨年度は罹災地区に三十二戸収容の四階建中層耐火アパートが建設されましたが、本年度は第二種中層耐火構造の住宅、二階建六戸連続、を四棟二十四戸、一戸当り坪数九・五坪、事業費一千五百五十四万円が見込まれています。これは本年度から県営住宅の建設を廃止することになりこれを市町村の公営住宅建設事業に補助することになつたもので、国が三分の二、残りの三分の一を県と市が半分づつ負担する、即ち六分の五が国県の補助となるものであります。建設の場所は一応獅子ケ森が予定されていますが、確定的なものではありません

失業対策事業

失業対策事業の労働人員は年間延二万八千人が予定されています。事業の内容をみると▽道路の整備に一万九千人▽公共用地の整備に四千百二十五人▽水路整備に三千三百七十五人▽環境衛生の整備に一千五百人で事業費一千百五十万円となつております。

産業振興を助長
新農村北部地区指定

新農村建設と酪農振興

農業関係の事業としては農地の所有状況及び振興推進調査さらに農地等の実績調査を行う。また土地改良調査、これは土地区画整理の指導援助と土地改良の調査設計を受託するためのもので経費百十二万円、本年度予定されているものは▽区劃整理三二四町、地劃測量九四町歩、頭首工一溜池二、揚水機施設二となつています。

新農村振興対策事業は三十一、三十二の両年度で南部地区の指定を受け事業を完成したが非常に好評で益するところが大きいので本年度は北部地区（長木、[illegible]内）の指定を受け、[illegible]加設、農山村振興共同施設、生活文化研修施設などの事業費として二百三十五万円が見込まれています。

また昨年度米代中流地域が酪農振興の指定を受けているので県とタイアップしてこれの振興を図ることになり、本年度で優良乳牛七十頭を導入しその利子補給を行うほか、高度の集約牧野三三町歩、サイロ設置四〇など酪農振興施設に対する助成指導を行うことなどがあげられています。

造林補植に百四十四万円

市営造林三〇町歩、補植三十四町歩、下刈等手入れの経費として百四十四万円が見込まれています。

また入会林野の実態調査も昨年に引続いて行われます。

木工品の量産化とデザインの改良

商工関係では木工製品の振興と産地化を図るため県の指導機関とも密接な連けいをとつて指導育成に努める。このため特に必要と思われるデザインや塗装技術の飛躍的な向上を図るため優秀デザイナーや塗装技術者を招聘し講習会や巡回指導をしばしば行う。

また機械貸与制の実施により老朽機械の入替えを図るなどの商工振興費は昨年度より三十五万円が増額されています。

信用保証四千五百万円

中小企業金融対策としての予託制による信用保証協会の出捐額は現在二百万円となつていますが、さらに本年度三十万五千円を出捐する。

現在保証されているものは件数で二二七件、金額では四千五百五十六万円にのぼつています。

提出事件と審議の顚末

——三月定例市議会——

◆昭和31年度一般会計決算（認定）◆同国民健康保険特別会計決算（認定）◆同特別会計恩給基金決算（認定）◆同特別会計公益質屋費決算（認定）◆同特別会計上水道事業費決算（認定）◆同特別会計温泉開発費決算（認定）◆同特別会計桂城土地区画整理事業費決算（認定）◆同特別会計大滝簡易水道費決算（認定）◆同国民健康保険事業状況報告の認定（認）定◆専決処分—32年度一般会計予算の追加—（承認）◆同—売買契約の締結—（閉会中審査）◆上水道事業費継続年期及支出方法の変更（原案可決）◆他の公共団体の退職年金及び同一時金の基礎となるべき在職期間と市のそれとの通算に関する条例（閉会中審査）◆契約条例（閉会中審査 ◆簡易共用林野運営に関する条例（原案可決）◆農業委員会農業振興部会委員定数条例（原案可決）◆新市町村建設審議会条例（閉会中審査）◆消防職員定員条例の一部改正（閉会中審査）◆市営住宅管理条例の一部改正（原案可決）◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正（原案可決）◆公民館使用条例の一部改正（原案可決）◆市税条例の一部改正（原案可決）◆市職員の退職手当に関する条例の一部改正（閉会中審査）◆土地改良事業調査設計委託手数料徴収条例の一部改正（原案可決）◆売買契約の締結、消防車擬装用品、（閉会中審査）◆同、消防車用シヤシー（閉会中審査）◆同、消防車擬装用品（閉会審中査）◆同、消防車用シヤシー（閉会中審査）◆同、二井田橋P.Sコンクリート桁（同意）◆契約方法について、二井田橋架築工事（同意）◆契約方法について、土地処分（閉会中審査）◆労災病院大滝線橋梁架設事業費継続年期及び支出方法書変更（原案可決）◆二井田大橋架設事業費継続年期及支出方法（原案可決）◆道路計画取消事件の応訴（原案可決）◆一時借入れをすることについて（原案可決）◆同（原案可決）◆昭和33年度一般会計予算（原案可決）◆同国民健康保険特別会計同（原案可決）◆同特別会計恩給基金同（原案可決）◆同特別会計公益質屋費同（原案可決）◆同特別会計上水道事業費同（原案可決）◆同特別会計簡易水道費同（原案可決）◆同特別会計青果卸売市場費同（原案可決）◆同特別会計桂城土地区画整理事業費同（原案可決）◆川口小学校老朽校舎改築事業費起債及び償還方法について（原案可決）◆第一中学校々舎増築及び二井田中学校屋内体操場建築事業費起債及び償還方法について（原案可決）◆釈迦内小学校老朽改築事業費起債及び償還方法について（原案可決）◆二田大橋架設事業費起債及び償還方法について（原案可決）◆災害復旧第二種公営住宅建設事業起債及び償還方法について（原案可決）◆火災復興土地区画整理事業費起債及び償還方法について（原案可決）◆上水道事業費起債及び償還方法について（原案可決）◆同（原案可決）◆昭和32年度一般会計予算追加更正（原案可決）◆同国民健康保険特別会計同（原案可決）◆同特別会計恩給基金同（原案可決）◆同特別会計公益質屋費同（原案可決）◆同特別会計上水道事業費同（原案可決）◆同特別会計温泉開発費同（原案可決）同特別会計簡易水道費同（原案可決）◆同特別会計青果卸売市場費同（原案可決）◆一時借入れとすること（原案可決）◆議決内容の一部変更（同意）◆契約方法について（同意）◆財政再建計画の変更（原案可決）◆昭和32年度都市計画火災復興土地区画整理事業予算の繰越使用について（原案可決）◆同宗福寺線街路整備事業予算繰越使用について（原案可決）◆市議会議員の選挙区及び選挙区議員定数条例の廃止について（原案可決）◆請願、市教育予算の確保（採択）◆同橋梁架設費補助（採択）◆同合併に関する請願（閉会中審査）◆陳情、保育所設置方（採択）◆同小学校改築方（採択）◆同分校改築方（採択）◆同道路新設方（閉会中審査）◆同溜池築造方（閉会中審査）◆同復興用木材供給要請方（採択）◆同木工業振興対策（採択）◆同河川改方（閉会中審査）◆同秋田犬の保存措置（採択）◆同校地拡張方（採択）◆同長木川南堤防改修方（閉会中審査）◆同区域外就学児童の委託（不採択 ）